

# 会報

第1号

平成14年6月12日発行

発行者

**青葉区ねことの暮らしを考える協議会**

会長 井本史夫

協議会事務局 PHS 070-5577-5737, 070-5577-5858



設立総会 H14.2.14

## 会長就任のごあいさつ

会長 井本 史夫

近年、都市化に伴う猫の問題が先進国各国で問題となっております。青葉区においても平成12年度に実施した猫の生息数と区民意識の調査によりますと、猫の問題として「糞尿、繁殖期の鳴き声、敷地侵入、器物損壊等」が多く指摘されています。一方、「猫は精神的安らぎを与えてくれる存在」との意見も多く寄せられました。

その結果、この問題の解決を具体化するためのあべき姿として、猫の適正飼育のあり方や飼養者不明猫との関わり方について、「青葉区ねことの暮らしガイドライン」がまとめられました。このガイドラインでは、のら猫については、人が繁殖制限をし、

その生活を改善させ、さらに新たな飼い主を探して「飼い猫」とし、その数の減少を図ること。自らの楽しみや一時的な感情で、見かける「のら猫」にエサを与えるのみの人を無くし、責任を持って「のら猫」の生活改善を行うようにすること。飼い猫の場合は、飼い主に対し、誤解の多い猫の習性について正しい知識を啓発し、併せて近隣

への配慮や猫の健康管理、また事故防止のためにも、都市部で適している「屋内飼育」の普及を図ることなどが示されています。

一方、その普及を図るためには、行政だけではなく、区民や関係団体が連携協力して普及啓発や支援を行う協議会の活動が必要不可欠と考えます。そこで、このたび、「青葉区ねことの暮らしガイドライン」を普及啓発し、人と猫とが共生できる街づくりに資することを目的として、本年2月「青葉区ねことの暮らしを考える協議会」を設立いたしました。

本会は、ガイドラインに基づいた猫の適正飼育・飼養の普及啓発、ガイドラインに沿ってのら猫の生活改善を行う人に対する補助、のら猫の飼い主探し推進、各種講習会の開催などを予定しておりますので、協議会の活動に、ご参加・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 会員通信

### 第1回定期総会開催について

日時：平成14年6月26日（水）午後2時～3時 場所：青葉区役所3階会議室  
会員の皆様の出席をお願いします。

議案 平成13年度事業報告、決算報告、  
平成14年度事業計画、予算案、その他

### 平成14年度年会費納入のお願い

平成13年度入会の方につきましては14年度の会費（一般会員年額1000円）の納入をお願いします。総会会場での納入をお受けいたしますが、都合がつかない方は郵便局振替口座にご入金ください。振替口座 00290-6-16690

「青葉区ねことの暮らしを考える協議会」

### 新規会員の募集について（一般会員年額1000円）

随時、募集していますが、総会会場にて受付もいたしますのでおいでください。

# 活動レポート



## 設立総会開催される

平成14年2月14日午後2時30分から、青葉区公会堂2階会議室にて、御来賓として連合自治会長会会長白井様、青葉区長尾崎様、磯子区猫の飼育ガイドライン推進協議会会長曾屋様をお招きし、報道関係者を含む48名が参加し設立総会を開催いたしました。

保健活動推進委員会の今井会長の開会及び司会進行により、総会が始まり、井本設立準備会代表からの設立提案など式次第の

とおりスムーズに議事が進行し協議会の設立などが承認されました。

議事終了後、役員紹介、会長挨拶につづいて、御来賓から次のような祝辞をいただきました。白井連長会会長から「昔はこのあたりも農村地帯で猫は外にいて当たり前だったが今では都市化が進み適正な飼育が必要になった」、磯子区の曾屋会長から「磯子での活動を通じて、広報とグループ活動の重要性、区内にとどまらない全国区的な動きの必要性などを感じている」、青葉区長から「行政と区民の方々、各団体が連携し地域の実態に即した活動や意見交換を行うことが重要」とのご挨拶や励ましをいただきました。

以上のとおり約1時間程で総会が無事終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

## 青葉郵便局にて

### パネル展示開催

4月1日～4月30日までの1ヶ月間、ニュータウン動物愛護会が青葉郵便局（市ヶ尾町）で開催したパネル展「動物たちの声」において、当協議会のコーナーを設けていただき、事業やキャットメイトについて紹介するパネルを展示しました。

多くの人の目にふれるなど協議会のPRを行うことができました。

### キャットメイト支援事業スタート！

キャットメイト（のら猫生活改善支援者）とは、ガイドラインに沿って、自己所有地内など周辺住民から了承が得られる場所で、適正に猫の世話をすると同時に、周辺の環境整備を行う人（原則としてグループ）で、「青葉区ねことの暮らしを考える協議会」が認定します。キャットメイトは、繁殖制限や健康管理など「のら猫」の生活を改善し、新たな飼い主を探すなど、責任をもって地域での保護者となるよう努めています。

5月末日現在、13グループのキャットメイトが承認されており、平成13年度の支援事業としてメス5頭オス5頭の不妊・去勢手術費用の一部補助を実施しました。同時に識別用マイクロチップの施術とワクチン接種（1回分）を支援しました。  
\*現在のキャットメイト負担額はメス3000円、メス6000円です。  
\*キャットメイトが世話する猫の愛称を募集しています。

### 設 立 総 会 次 第

1 開 会	平成13年度 役員
2 設 立 提 案	会長 井本史夫 *1
3 議 長 選 出	副会長 今井千代子*2
4 議 案 審 査	事務局長 西康男 *1
(1) 第1号議案 会則(案)	会計理事 武井俊夫 *1
(2) 第2号議案 活動方針及び会員に関する事項	理事 太田成江
(3) 第3号議案 会長、副会長の選出	理事 三橋米子
(4) 第4号議案 役員承認及び監査の選出	理事 相沢文子 *2
(5) 第5号議案 平成13年度事業計画(案)	理事 市川千嘉子
(6) 第6号議案 平成13年度予算(案)	理事 日向千絵
(7) その他	監査 飯島兼子 *2
5 議 長 解 任	顧問 萱森潤一 *1
6 役 員 紹 介	顧問 高橋康雄 *3
7 会 長 挨 拶	*1 青葉区獣医師会
8 来 賓 祝 辞	*2 青葉区保健活動推進委員会
9 閉 会	*3 青葉福祉保健センター長

## 青葉区保健活動推進委員会

会長 今井千代子  
青葉区では323名が市長から委嘱され保健活動推進員として、公衆衛生の向上を図るために活動しており、平成13年6月保健指導員から、その名称が変わり現在に至っています。

保健活動推進委員会では、昨年度が実施した猫の意識調査に協力させていただきました。その集計結果が、9月に発足した猫問題検討会、今年2月の協議会誕生へと実を結んだことを有意義に感じております。

推進委員会として、引き続き協議会に協力し、青葉区の生活環境が一層向上するよう努力していきたいと考えております。

また、この協議会がますます発展することを願っています。

## 青葉区獣医師会

会長 萱森 潤一

新緑の候、青葉区ねことの暮らしを考える協議会の皆様方におかれましては、益々御清業のこととお慶び申し上げます。

青葉区獣医師会では、昨年の10月にミニシンポジウム「地域社会と猫を考える」を青葉区保健所と共同開催し、青葉区民の皆様へ地域猫との係わり方の啓蒙努力をしてまいりました。これを契機に致しまして、人と猫とが共生できる街づくりに資することを目的とした当協議会が設立されるに至りました。

青葉区獣医師会としまして、

このコーナーは協議会の協力団体や各役員からの一言を掲載しています。

このすばらしい取組みに参加できたことを光榮に思い、当協議会の主旨の啓蒙や運営などに全面的に協力していく所存でございます。

### 獣医師会加入動物病院一覧

病院名	所在地
にし動物病院	美しが丘2丁目
井本動物病院	美しが丘5丁目
あぞみ野動物病院	美しが丘5丁目
中田動物病院	元石川町
すすきの動物病院	すすき野3丁目
いしかわペトリック	荇子田3丁目
フォレスト動物病院	黒須田
新井動物病院	あぞみ野南
えだ動物病院	荇田北2丁目
市ケ尾獣医科	市ケ尾町
青葉動物病院	市ケ尾町
田園山田動物病院	市ケ尾町
リコの動物病院	藤が丘2丁目
ベルジェ藤が丘動物病院	梅が丘
青葉台犬猫病院	つつじが丘
古性愛犬病院	つつじが丘
はら動物病院	柿の木台
馬場動物病院	みたけ台
可愛動物病院	桜台
鈴木憲太動物病院	若草台
古山獣医科	櫻が丘
こどもの国動物病院	奈良1丁目
武井ペトリック	奈良3丁目
玉川家畜病院	奈良町

(順不同)

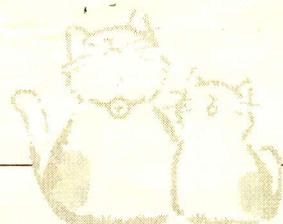
## 神奈川捨猫防止会

太田 成江

複数の外猫の世話をしている人が引っ越すとしたら、猫達を新居の周りに連れていくことはかなり難しい話です。時には無理に新しいマンションで室内飼いをする人もありますが、この方法は猫にはとてもストレスになります。自分が世話を続けられなくなった時は、一体どうしたらいいのでしょうか。

- ・ 餌を与えるようになったならばなるべく早い内にオス猫もメス猫も不妊手術を受けさせる。
- ・ 餌のやり方、片づけ方・糞掃除などをきちんとして、近所の迷惑を少なくする。
- ・ 餌場周辺に住む人には、猫をふやさない為に行っているということを理解して頂く。

こうして地域にとけ込んだ猫になっていれば、次の人に頼むことも可能になります。人と猫との関わり合いの為の知恵などを伝え合いながら、住み良い町にしてゆきたいものです。



### 青葉福祉保健センターからのお知らせ

「青葉区ねことの暮らしガイドライン」を解説したパンフレットを作成しました！

- ① 猫飼育ハンドブック～屋内飼育のおすすめ
- ② そと猫・のら猫ルールブック

6月20日から生活衛生課と広報相談窓口にて配布いたします。

ガイドラインの問合せは：生活衛生課 電話 045-978-2463 へ

## ニュータウン動物愛護会

・会長 日向 千絵

人にも動物にも住みやすい社会の実現を目指してこんな活動をしています。

### ・動物譲渡会

行き場のない動物達と動物を飼いたい人との出会いの場を提供します。センター南駅前で日曜の午後開催。雨天中止。参加は要申込。

### ・のら猫の不妊手術普及活動

のら猫でお困りの地域住民の方、餌やりをされていて猫が増えて困っている方等の申し出に応じ、去勢・不妊手術のお手伝いをしています。人に慣れていない猫の捕獲等、必要に応じて、ボランティアさんを派遣します。

### ・パネル展

様々な角度から見た、不幸な動物達の現状を多くの方に知って頂き人と動物の共存について、皆さんと一緒に考えていきます。小さな事でもご相談ください。

ニュータウン動物愛護会

070-5212-2242 日向

www.satooyal122.com

## 猫のこんな「トラブル」 ご相談ください

\* 家の可愛いミケが、小鳥を捕ってきて困っているの。

\* お隣さんから、「庭の木にある鳥の巣をお宅の猫が狙って困る。」と言われて悩んでいるの。

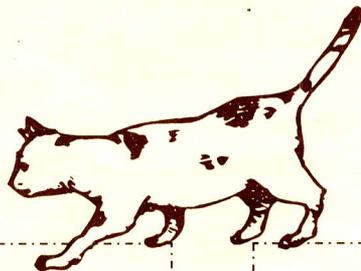
\* 私が面倒みている「野良ちゃん」達の餌場に、タヌキみたいな動物が現れてしかも病気みたいだけれど・・・どうしたらいいのかしら？ など、猫と他の生き物の中で思いがけないトラブルが起こることも・・・。

こんな時、それぞれの習性や行動を配慮して「どうしたらトラブルを回避出来るか？」と一緒に考えていきたいと願っています。

かながわ野生動物サポーターネットワーク  
会員

三橋 米子 090-1454-4230

fu8160@mail.goo.ne.jp



## 理事として

猫を飼ったことのない私が「ねことの暮らしを考える協議会」発足までの何回もの検討会の中で、猫の本能、性質、成長過程を知ったり、獣医師の先生方、捨猫防止会の人々の思いを聞くにつけ、今は「たかが猫、されど猫」という思いと同時に、猫がたいへんいとおしいという気持ちになりました。

猫が好きでも住宅事情で飼えない時、共生出来る住宅や、環境を作るなどして、周囲への配慮を心がけて適切な飼い方をすれば、猫との共生は不可能ではないと思います。

これからは、青葉区の人達に猫のこと知っていただく機会を折にふれてPRすることにより、猫が大切な存在として生きられるよう努めてゆきたいと思っています。

青葉区食生活等改善推進委員会

市川 千嘉子

### 協議会への募金についてのご報告

のら猫の生活改善支援（不妊去勢等推進）を目的とした募金箱を区内動物病院（獣医師会加入）に設置しています。

平成13年度募金額 26,265円

募金は、のら猫の不妊去勢手術支援に活用させていただきました。なお、募金箱の設置に協力していただける事業所等につきましてはお知らせください。

### 賛助会員のお願い

協議会の目的・事業に賛同され、会へ支援をしていただける企業や各種団体を募集しています。（会費年額1万円）

ご協力お願いいたします。

各種問合せは事務局までお願いします。

### 賛助会員並びに寄付の御礼

#### 賛助会員賛同者

青葉区食品衛生協会 様、 若松屋商事 様、  
佛教平和会延命地藏尊 様

#### ご寄付

太田和道 様1万円、 岡田喜久子 様9千円、  
市川千嘉子 様 千円

### ボランティア募集中!

新しい飼い主探し・運搬等の手伝い・募金活動・催しの準備受付・ポスター作成・発送作業など可能なことだけで結構です。

### 編集後記

2月の協議会設立から約4ヶ月で会報を発行することが出来ました。会報の名称・企画についてのご意見や、寄稿等をお待ちしています。